

地に足をつけて 「日本一新」を

衆議院が解散された日の翌日、私は「郵政改革法案否決、に思う」という一文を書きました。いつもハガキ等でご意見をいただくのは10通前後ですが、今回は50通を超す反応がありました。

その中で反対意見は1通もなく、「君の言う通りだ」「あなたの言うことはよくわかった、がんばってほしい」「民主党をなんとかしてくれ。今回は自民党にする」というご意見ばかり。

ご意見をコピーして菅事務所に渡しもしましたが、結果として民主党は惨敗。いかに民主党が期待をしてくれる人々の声に対して、選挙の前も後も、鈍感だったかを改めて感じました。小泉改革は内容的には不十分極まりないし、自民党がぶっ壊されたわけでも全くないのですが、国民の想いに対する小泉総理の感覚と毅然とした態度には見習うべきものがあると思います。

これを機に前原代表が、国民に迎合するのではなく、しかしその想いに鋭い感覚をもつ党に建て直していただくことを期待するとともに、自分としては、全国の仲間の応援に行脚してまわる小沢さんを見習って、私自身、身近なところから地道に支援の輪を広げる活動を続け、「日本一新」を目指してまいります。

これまで以上に様々なご意見をぜひ聞かせていただき、より一層のご支援をたまわりますよう、よろしくお願い申し上げます。



ご意見ご声援をよろしくお願いします！

TEL 042-335-0097 / FAX 042-361-9856
Email sugimura@sea.sannet.ne.jp
URL <http://www.fuchu21.gn.to/>
郵便振替 00150-1-102251
銀行口座 みずほ銀行府中支店 貯 4572242

府中市議会議員・民主党・府中の元氣

杉村康之 / プロフィール

昭和44(1969)年2月19日生(36才)
日鋼町に育ち、現在栄町在住。府中一小、府中四中、国立高校、青学大卒。
その後日本新党の活動に参加、山田ひろし衆議院議員(現杉並区長)の公設秘書を経て、平成11年府中市議選に無所属で初挑戦。
平成15年府中市議選に自由党で初当選。民由合併を経て、現在民主党に所属。

府中一新、日本一新。

府中の元氣

フリーダムネット

No.17 2005.10

9月議会報告

16年度決算審議

小さなミスに対するしくみを
ごみボックスはマナーを守って

< 16年度決算の概要 >

歳入では収入済額で、850億8685万円。前年度比14.8%増だが、市債の借換分を除いた実質的な伸びは、9.4%。

景気の回復の兆しがみられ、法人市民税は21%も増加したが、個人市民税は落ち込みが続き3%減。市税収入全体で0.9%増。

三位一体改革により、一般財源が3億7956万円増えたが(85.7%増)補助金が5億1096万円の減で、差引き1億3140万円の減。

歳出では支出済額で、836億3566万円。前年度比実質9.6%の増。主な要因は、リサイクルプラザの新築、子ども家庭支援センター「たち」の設置、府中駅南口の再開発など。

その他、市制施行50周年を記念にした様々な事業が行われた。

平成 16 年度決算の質疑

杉村 この1年に市の職員とやり取りする中で、規則で規定されたことが実行されてないなど、事務上のミスが5件あった。ミスは仕方ないが、企業の業務監査のような、ミスを防ぐためのしくみはないのか？

答弁 現在そのような部署はない。各課で責任もつしくみになっている。

杉村 小さなミスが重なり、やがて大きな事故を引き起こす。担当レベルで気をつけるのは当然だが、システムとしてミスを防ぐ必要があると思う。

杉村 NPO等の活動に助成をする協働推進事業はよい取りくみだが、募集テーマと実際の活動とがずれているケースが多い。テーマの方を広げて多くの団体が助成の対象になるようにしてはどうか？ 事業の質もよくなる。

答弁 この事業も3年目。委員の言うとおり、テーマを見直す時期と思う。

杉村 芸術劇場の自主事業への補助率は他市と比べてどうか？ またホールの貸出しに市民優先の考えは？

答弁 文化系ホールの自主事業への補助率は36.6%。立川市は80.6%、調布市は67.5%、武蔵野市は25.0%。市民優先については検討する。

杉村 単純比較はできないが、府中の芸術劇場はがんばっている方だ。府中

は恵まれているので、他市よりも芸術文化の振興に力を入れて欲しい。

ホールの市民優先については、例えば抽選で2回はずれた団体はせめて3回目は優先にしたい。

杉村 市の施策の成果を計るものさしとして動員数がよく使われるが、動員数だけでは成果はわからない。客観的に成果がわかるものさしを設定するべきではないか？ (例えば、健康まつりによって「健診率」がどれだけ増えたか、など)

答弁 できるだけ具体的なもので計るよう各課にお願いしている。委員の言うとおり、取り組んでいきたい。

杉村 道路脇の植込みの清掃はどうしているか？ 公園の清掃のように市民グループの力を借りてはどうか？

答弁 清掃は基本的には道路管理者(国道は国、都道は都)の責任。一部、多少の援助をして市民グループにお願いしているところもあるが、市民の皆さんにはご協力をお願いしたい。

杉村 ごみのボックスは便利だが、家の前に置かれ、マナーが悪くて困っている市民もいる。ボックスの置き場所に関する苦情にどう対応しているか？

答弁 そうした苦情は300件ほどある。原則としては地域の中で相談していただくことになっているが、市が調整役となる場合もある。

小さなミスに対するしくみを

「事務上のミス」とは例えば、規則に規定されていることが実行されていなかったとか、規則により市民に公開されるべき協議会の日程が知らされていなかったとかいうもので、それぞれの事情は「うっかりしていた」とか「知らなかった」というようなものでした。

役所というのは、施策の方向性について考えが違ったり、作業の進み具合が遅いとかいうようなことはあるとしても、決められたルールや手順は着実に正確に行われているものだと思っていましたので、とても意外でした。各課で責任を持つとの答弁でしたが、それは今までもやってきたはずで、各担当者の努力は当然ですが、ミスは誰にでもありえますので、しくみとして、別の角度から、チェックする必要があるだろうと思います。

「ハインリッヒの法則」という保険ビジネスなどで使われる法則があります。1つの大きな事故の裏には顕在化した小さな事故が29あり、その裏には表にはならないが当事者がヒヤッとした事故が300あるという統計上の法則で、1:29:300の法則ともいいます。これは小さなミスのうちに根本的に対処すれば大きなミスを防ぐことができるということを示唆しています。

ごみボックスはマナーを守って

9月11日、25日には「杉村康之タウントーク」を開催し、市民の皆さんと意見交換をさせていただきました。ちょうど議会開催中でしたので、皆さんからいただいた貴重なご意見を参考に、決算委員会で発言することができました。植込みの清掃やごみボックスの問題がそれです。

ごみボックスは大変便利で、市民に人気の施策の1つですが、これを維持していくには私たち市民がそれなりの努力をしていかなければなりません。置き場所がなくて戸別回収になっているところもあります。二枚橋の処理場が廃止されるので、現状のごみ量を処理することも難しくなります。自宅の前にボックスを置く人だけが損をしたり、ごみ分別・ごみ減量が進まないにごみボックスは長続きしません。

毎日1人がタマゴ2個分(120g)のごみを減らせば「1万トンごみ減量」は1年で達成できます。力をあわせて美しい街を創りましょう。

